

## メッセージ

本日ここに、世界平和の実現をめざし「原水爆禁止2014年世界大会」に参加された皆様に、心から敬意を表します。

今年は、日本に原爆が投下されて69年、そして、太平洋ビキニ環礁でアメリカが核実験を行い、漁船「第五福竜丸」の乗組員が被爆した日から60年目の年にあたります。

世界は今、核廃絶への潮流を加速させています。にもかかわらず、アメリカ合衆国は昨年度も2回にわたる新型の核性能実験を実施しました。こうした姿勢に強い憤りを感じるとともに、本市としてその都度、即刻、嚴重な抗議を行ってまいりました。

核兵器の廃絶は困難な課題ですが、人類の生存と繁栄のためには避けて通れない道であると確信します。そして、日本は平和を望む世界各国の人々と協調し、核兵器のない国際社会の実現に一層力を尽くすことが必要だと考えます。

1982年に大阪府内の各自治体に先駆けて「非核平和都市」を宣言した本市としても、核兵器廃絶に向けた取り組みに力を注いでいるところです。今後も人類共通の願いである、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をめざす取り組みをさらに進めていく決意です。

「原水爆禁止2014年世界大会」の成功と、核兵器の廃絶と恒久平和を願う人々の輪が一層広がることを祈念し、メッセージといたします。

2014年8月

枚方市長 竹内 脩